

椿だより

第10号 平成30年 夏号

社会福祉法人 宗得会

横須賀市太田和2-3-21

Tel : 046-857-9598

Fax : 046-857-9894



生きる



101歳



見守る

未来へのエビデンス

待つ



整える



「認知症ケアにおけるエビデンス」

ホーム長 大澤憲夫

新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）が2017年7月の「認知症高齢者等にやさしい地域づくりに係る関係省庁連絡会議」において、新たな数値目標（2017年度末-2020年度末）に更新されました。新オレンジプランでは認知症の方ご本人の声を受けて、新プランを7つの柱に沿って整理し「認知症の人やその家族の視点の重視」を7本目の柱として掲げています。これは超高齢社会の日本において、認知症はごくありふれた病気のひとつであり、いつ自分となるかもしれない、あるいは自分の大切な人がなるかもしれない等、「認知症をもっと身近で考える」ということだと思います。

今、認知症ケアに限ったことではありませんが、研究結果の科学的根拠（エビデンス）が常に問われるようになりました。しかし、実際の認知症ケア研究からエビデンスを得ること自体がとても難しく困難であるということが現実です。また、認知症ケアの研究そのものの歴史がとても浅く、そのために研究資料の長期に亘るデーター量が少ないと問題もあります。認知症ケアにおけるエビデンスが得にくい理由にアウトカム（成果）評価が難しいという

点が挙げられます。

認知症ケアの効果は、ADL（日常生活動作）レベルの維持・向上だけで評価することはできません。大変難しいのですが、認知症の人の受けたケアの内省（思い）によって証明されることも必要になってきます。

しかし、エビデンス評価がないからといって実際のケアに役立つ研究がないということではありません。当法人のグループホームでは、日本認知症グループホーム研究発表大会で、「未来へのエビデンス」という演題を発表しました。その発表内容は、認知症のひとへの関わり方で、その人の表情や行動にポジティブな結果をもたらし、そのケアの有効性が確認されたという事例の発表でした。私たちは、沢山の蓄積された歴史や資料がなくても、実際の介護現場で多くの成功例を積み重ねることによって、それは有効な方法として他の認知症の方のケアにも役だっていくのではないかと考えました。将来、この実績がもっと多くの認知症の方に有効的な効果をもたらすことになれば確かな「エビデンス」を得られる可能性も高くなり、認知症ケアのイノベーション（技術革新）になるのではないかと思っています。

西第一地域包括支援センター

介護予防ソーター養成講座を開催しました

西第一地域包括支援センターでは、認知症になっても、一人暮らしでも、できる限り住み慣れた地域で生活が継続できるよう、地域全体で高齢者の方々の生活を支えることが出来る地域づくりをしたいと活動しています。

しかし、包括の力だけではできませんので、それをお手伝いいただく地域型介護予防ソーターを養成する講座を開催しました。



3日間で延べ85名
の方が参加してく
だり、活発な意
見交換が行われま
した。



そこで一句

ささえあい 地域のつながり かみしめる

知っていますか？
高齢者虐待



- Q1：虐待は「虐待者が悪者」だから起こる
Q2：虐待している人は全員が「虐待している」という自覚がある

心配なことがありますら
包括支援センターへご相談ください
■ 046-857-9939

こたえ

A1:いいえ。介護や世話をすることで心身ともに疲れ、追い詰められて不適切な対応をしてしまうことがあります。

A2:いいえ。介護や世話をしている人の半数以上が「虐待をしている自覚がない」と答えています。

第3回介護教室を開催しました



6月24日（日）は、あいにくの雨天にも関わらず地域から20名の皆様が参加され、好評を頂きました。

介護教室で取り上げた『いつまでも食事を美味しく食べるため』については、特別養護老人ホーム横須賀椿園の取り組みをコラムにてご紹介します。

今回は、特養の介護職員がご利用者介護の実践をふまえ下記の講義を行いました。

- 認知症について学びませんか？
～認知症についての基礎知識と認知症の方への対応について～
- いつまでも食事を美味しく食べるため
～食事前にこれだけはやっておきたいこと～



今後も何か学びたいテーマ等ありましたら、椿園までどしどしリクエストをお寄せ下さい。



いつまでも食事を美味しく食べるため…

特別養護老人ホーム横須賀椿園
介護長 小野寺 勉



6月よりワールドカップが開催され、熱き戦いが繰り広げられましたが、サッカー選手を始めスポーツ選手が取り組むのが身体のコンディション作りで、その一つとして栄養があります。

私達も、必要な栄養を損ることで元気に動くことができますが、高齢者の中には病気や障害によって、食事を噛むことや飲み込むことが難しい方々がおられます。必要な栄養が損れなければ、元気に動くことや意欲が失われるなど、様々な低下に繋がってしまいます。



今年度より、食事全般に関する支援方法を根本的に見直すと共に、ご利用者一人ひとりが、安心して安全に美味しく食べ続けられるように、施設全体で食から始まる総合的なケアへ取り組んでおります。

現在、研修への参加や勉強会の開催などを通じて、各職員が意識を高く持ち、ご利用者の状態に適した食事形態や食事姿勢、嚥下体操など、より根柢を持ち携わらせて頂いております。

また昨年度より、歯科医師・歯科衛生士による専門的な口腔ケアも開始されました。

これからも、一人でも多くの方が安心して安全に美味しく食べ続け、元気に過ごして頂けるように、職員一体となり全力で努めてまいります。



連携



平成29年度 決算報告

貸 借 対 照 表 平成30年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	300,889,280	流動負債	34,853,163
固定資産	1,333,886,378	固定負債	40,079,979
基本財産	1,279,434,738	負債の部合計	74,933,142
その他の固定資産	54,451,640	純資産の部	
		基本金	836,835,060
		国庫補助金等特別積立金	378,225,501
		その他積立金	7,481,952
		次期繰越活動増減差額	337,300,003
		(うち当期活動増減差額)	23,297,931
		純資産の部合計	1,559,842,516
資産の部合計	1,634,775,658	負債及び純資産の部合計	1,634,775,658

事業活動計算書 資金収支計算書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
サービス活動収益計	601,397,314	事業活動収入計	602,702,881
サービス活動費用計	578,183,700	事業活動支出計	561,548,571
サービス活動増減差額	23,213,614	事業活動資金収支差額	41,154,310
サービス活動外収益計	1,305,567	施設整備等収入計	0
サービス活動外費用計	947,740	施設整備等支出計	7,355,486
サービス活動外増減差額	357,827	施設整備等資金収支差額	-7,355,486
経常増減差額	23,571,441	その他の活動収入計	2,362,394
特別収益計	0	その他の活動支出計	6,200,844
特別費用計	273,510	その他の活動資金収支差額	-3,838,450
特別増減差額	-273,510	当期資金収支差額合計	29,960,374
当期活動増減差額	23,297,931	前期末支払資金残高	239,732,019
前期繰越活動増減差額	314,002,072	当期末支払資金残高	269,692,393
次期繰越活動増減差額	337,300,003		



行事予定

8月 施設見学会 夏祭り



花火鑑賞会

9月 敬老祝賀会

10月 運動会



11月 紅葉外出

編集後記

今回第1面を飾ったのは現役グループホーム入居者の皆様。その佇まいの美しさ、笑顔の温かさ、穏に刻まれる優しさ、まさに半端ないっ！！

施設見学は随時承っています。

どうぞお気軽にお問合せください。（椿姫Y）

屋上＆中庭ガーテン



今年は中庭にもガーテンを作り、じやがいも、なす、メロン、水菜などを植えました。みなさん成長を楽しみにしていました。



初の試み！中庭ガーテン

毎年中庭にやってくるツバメさん



メロンの花。はたして実はなるのか？

屋上ガーテンにて。今年もじやがいも採れました。



新人職員紹介

とても落ち着いて見るので「本当に20歳なの？」とよく言われます。

特技はベースギター。学生時代はハントを組んでいました。

スポーツはスキーが得意。小一から毎年長野に行ってきました。



湘南医療の頼れる先輩が多く、安心です。

熊木 晴さん 20歳
くまき なぎさ
H30年4月入社
湘南医療専卒



「晴」という名前なので、女性と思われてしまう。初対面で必ず驚かれる。

まだ不慣れで動きも遅いですが、ご利用者の役に立てるよう頑張ります！

俳句・川柳を募集します！

例えば、こういう感じで…

こんにちは 笑顔で挨拶 誰だっけ

作品掲載者には粗品を差し上げます。
お気軽に椿園 片平までご応募ください。

